



競技説明書

本内容はライダーズミーティングでもご説明致します。
参加選手はよくお読みの上走行に臨んで下さい。

スタートに関して

スタートはエンジンが始動状態でのル・マン式となります。
必ずしもエントリー時の第一ライダーをスタートのライダーとする必要はありません。
スタート時はマシンを保持できるのは1人のみとし、スタート後は速やかにコースから出て下さい。



1



2



3



4



5

ウォームアップ後はピットインせず、エンジンをかけたまま予選順にマシンを並べます。マシンの保持は1名とします。

ライダーはコース反対側で待機します。スタートライダーはエントリー時の第一ライダーと同一である必要はありません。

スタートフラッグが用意されます。スタートライダーは白線を超えない位置で準備します。

MCが5秒前までカウントダウンを行い、フラッグが振り下ろされたと同時にライダーはマシンに駆け寄り

レーススタートとなります。エンジンがかからない場合などスタートできないときはスタッフの指示に従い一旦コースから出てください。

※③～④

旗が振り下ろされる前のフライングがあった場合はライドスルーペナルティーが科されます。

計測について

- コースインする際は、いかなる場合でも計測器を取り付けた状態で走行してください。1チーム2台以上の場合、各自計測器を付け替えてください。
- 計測機の付け方を間違えると計測できない場合があります。付け方は下図を参考にして下さい。
- マシントラブルや怪我によりリタイヤする場合は、すみやかに計測機を返却し大会事務局まで申し出てください。
- 決勝は30分ごとに掲示板に途中結果を貼り出します。このときの順位はあくまでも目安です。
- レース中のラップタイム及び順位を個別に印刷するサービスは行っておりません。

ロードバイク取り付け位置

ハンドルを左右いっぱいに切ったときに、ハンドルの切れ角を阻害せず転倒時などに計測器を破損しないように取り付けてください。



ホルダーはこのようにタイラップを2本通し、各箇所固定します。ガムテープは切れやすいので禁止。HRC純正タイラップがお勧め。事務所で販売しています。

モタードバイク取り付け位置

※マフラーの熱、走行中のストローク及びタイヤ、転倒等で計測器が脱落しない様に注意してなるべく低めに取り付けてください。画像はフロントフォークアウターチューブ手前側の例



計測機はピンが上にくるように付けます。向きが逆だと感度が悪くなり、測れないことがあります。βピンは奥まで差し込みましょう。さらにタイラップなどでとめてもOK!! ※X2マイボンダー(新型)は異なります

リザルトWEB配信

予選、決勝後以下のサイトに掲載されます。

<https://speedhive.mylaps.com/ja/Organizations/18445>

Live Timing
"SPEED HIVE"



スマホ専用アプリ使用でリーダーボード(ラップモニター)が今すぐご覧いただけます! ※使用には mylaps アカウントが必要となるので以下の説明サイトに従ってアカウントを取得しアプリを起動して下さい。



説明サイト (<https://okspo.jp/news/mylaps/>)

走行について



コースインの際には
計測器と腕章を取り付けてください

【ピットロード使用について】

- ・ピットロードは全域一速低回転数で徐行運転です。
- ・パイロンで区切られた区間以外ではバイクを降り、手押しで移動してください。
- ・パイロンを勝手にどかしたり、横切ったりしないでください。
- ・サインエリア内は譲り合って使用して下さい。ピットロードは原則マシン優先です。横断は十分注意してください。

【ピットイン・コースインについて】

コースインの際は後方をしっかり確認し、左手を挙げて後続車に合図をしてください。また、コースイン直後は3コーナーをクリアするまで右端いっぱいを走行してください。ピットインする際は、8コーナー進入前から右端走行に切り替え、左手を挙げて後続に合図をしてください。

【ライダー交代について】

- ・ライダー交代をする際は、ピットロード横にあるグリーンのパイロンで囲われたライダー交代スペースのみで行います。(下記コース図参照)
- ・ライダー交代スペースでは給油と軽作業(3分程度)までを認めますが、安全のため給油時にはエンジンを停止し、同時に別の作業を行わないで下さい。
- ・ピットロード内やその他の場所でのライダー交代は危険とみなしペナルティの対象となるので注意。
- ・ライダー交代スペースは混雑する為、奥からつめて使用してください。
- ・ピットロードとライダー交代スペース以外では、場内全域マシンから降り、手押しで移動してください。

■1人あたりの1スティント(連続走行時間)

- ・1人あたりの1スティント(連続走行時間)は25分未満とし、必ずライダーを交代してください。
- これを超過した場合は25分ごとに-1周のペナルティが科されます。

※スティントタイムの測定区間

- ★スタートライダー
レース開始からピットイン計測ポイントを通るまでの間。
- ★第二ライダー以降
コースインラップ後にコントロールラインを通過してから、ピットイン計測ポイントを通るまでの間。
- ★最終ライダー
コースインラップ後にコントロールラインを通過してから チェッカーフラッグを通過するまでの間。スティントタイム測定開始ライン(コントロールライン)・終了ライン(ピットイン計測ポイント)は下図を参照してください。

【スタート前チェックとハンデ確認について】

- ・決勝30分前より、マシンを手押しでグリッドに並べスタート前チェックを行います。
- ・発電機をサインエリアに置いてのタイヤウォーマーの使用を認めます。
- ・ここではマシンの最終チェックと各チームのハンデ確認を行います。この時チェックが受けられない+ハンデのあるチームは、ハンデ対象のマシン及びライダーがコースインする際、ライダー交代スペース先のハンデ確認エリアでチェックを受けてからコースインして下さい。
- ・スタート前、コースイン前に確認出来なかったハンデについては原則適用されません。

【ウォームアップ走行、グリッド整列について】

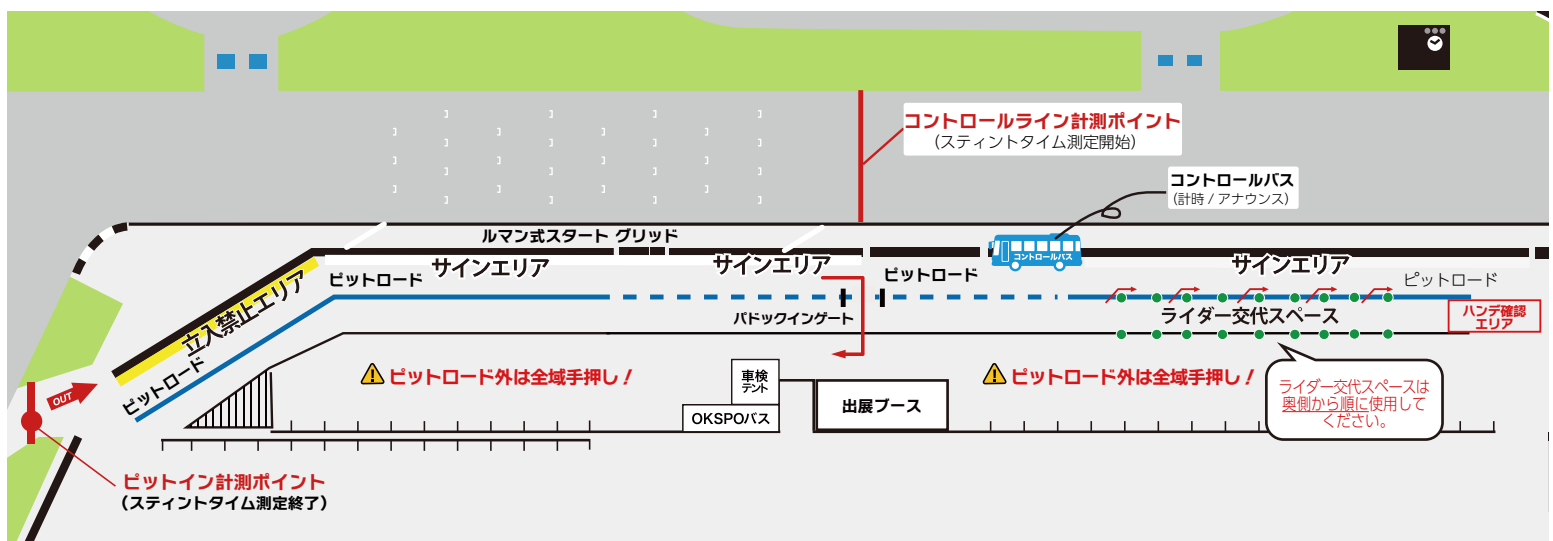
- ・レース開始約10分前からウォームアップ走行がスタートします。こちらは計測器のテストも兼ねているので、全チーム必ず走行してください。
- ・ウォームアップ終了のチェッカーが振られたらエスケープゾーンへ一旦入りピットインせずそのままグリッドに並んで下さい。

【コースのショートカットについて】

- ・レース当日は赤旗及びオレンジボール、チェッカー時以外のショートカットエリアの走行を禁止としペナルティの対象となります。

【コース上で走行不能になった場合】

- ・トラブルによってマシンが走行不能となった場合は、原則としてライダー本人がマシンをピットまで押して戻って来て下さい。その際は、エスケープゾーンを利用しコースの外周(コース外の舗装されていない部分)をまわりピットロードまで戻り、必ず一旦パドックインゲートまでマシンを運んでから各パドックに戻って下さい。
- ・1・2コーナー区間で発生した転倒・トラブルに限り、コース外周を逆回り方向に手押ししてコースインゲートから退避することを認めますが、その周回数はカウントされません。この場合のピットイン後は、コントロールバスまでスティント終了の旨をお知らせください。



フラッグとその対処法・ビブス運用に関して

黄旗

コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。最大限の注意を払い走り原則追い越し禁止。全ポストに黄旗が出された場合はフルコースコースションとなり、コース上のトラブルが解消するまではペースを落として追い越し禁止で走行しなくてはならない。



チェッカーフラッグはレース走行終了時刻になり次第車間を見て振られる。トップの直前を周回していた選手(1周遅れ)の選手はもう1周となる。チェッカーを受けたらフリー走行時同様に3コーナーエスケープに入り、スタッフの指示にしたがってコースから出る。急に止まったりしない事。なお、完走扱いとなるのは、チェッカーフラッグをめぐり、トップの周回数75%以上を周回しているチームとし、同一周回の場合は先にチェッカーを受けたチームが上位となる。

黒旗

+ 1

ライダー及びマシンに問題がある場合に出される。サインボードに示された番号の競技車両は速やかにピットインする。ただしエスケープゾーンのショートカットは禁止とする。

オレンジボール

+ 1

マシンに重大な問題がある場合に出される。(オイル漏れなど) サインボードに示された番号の競技車両は左手を挙げ速やかにランオフエリアに入り、オフィシャルの指示に従いピットインする。競技コースが新コースの場合には旧コース1コーナーか、右端いっばいを走りランオフエリアに退避すること。

赤旗

レース中断。レース中、大きな事故やオイル飛散等により赤旗中断となった場合は、急な減速や進路変更などはせずオフィシャルの指示に従い速やかにピットエリアまで戻る事。この時は、エスケープゾーンをショートカットしてもペナルティの対象にはならない。

赤旗中断になった時点で計測をストップし、コースがクリアになり次第中断になる一周前の順位でグリットにつき、残り時間分のレースを再スタートする。赤旗後コースがクリアになった時点で残り時間が10分を切っていた場合は、中断する一周前の順位を最終結果とし、レース終了となる。この場合完走扱いとなるのは、トップの周回数の75%以上を周回しているチームとする。

RIDETHROUGH

10

当該ライダーは、レース中、ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。通過後、当該ライダーはレースに復帰することができる。ライダーはピットレーン速度制限を遵守しなくてはならない。



初心者用グリーンビブスの貸し出しを行います

グリーンビブスを着用している方はレース初心者です！
追い越しや並走する際はあまり車間を詰めない等の配慮をお願いします。(先着10着。受付にご相談ください)

ペナルティに関して

大会規則、大会役員の指示に従い違反行為のあった場合ペナルティに関しては抗議できません。以下に記された以外でも競技長判断によりペナルティが付く場合があります。

- フラッグ無視・・・厳重注意またはタイムの加算または周回数減算(目安として、予選中の黄旗無視は2秒加算、決勝中は周回数の減算)
- フライング・・・ライドスルー
- ショートカット・・・予選=ベストタイム1秒加算 決勝=1周以上の減算
- ダブルチェッカー・・・厳重注意またはタイムの加算または周回数減算
- ストレート右側の白線ラインカット・・・厳重注意またはライドスルー
- 危険行為・・・厳重注意またはタイムの加算または周回数減算
- 基準タイムの超過・・・該当する周回は無効
- スティントタイムの超過・・・25分ごとに1周減算
- ピットロードの速度違反・・・厳重注意またはライドスルー
- 腕章及び計測器未装着・・・黒旗対応

上記はあくまで目安となり、悪質な場合失格となる場合もあります。
呼び出しのあったチームの代表者は、
コース脇のコントロールバスまでお越し下さい。

完走の定義

- 決勝レースのチェッカーフラッグを受けたチーム。(赤旗終了時を除く)
- トップの周回数の75%(小数点以下切り捨て)以上を走行したチーム。

各チーム「ケガなく完走」を目指して頑張ってください！